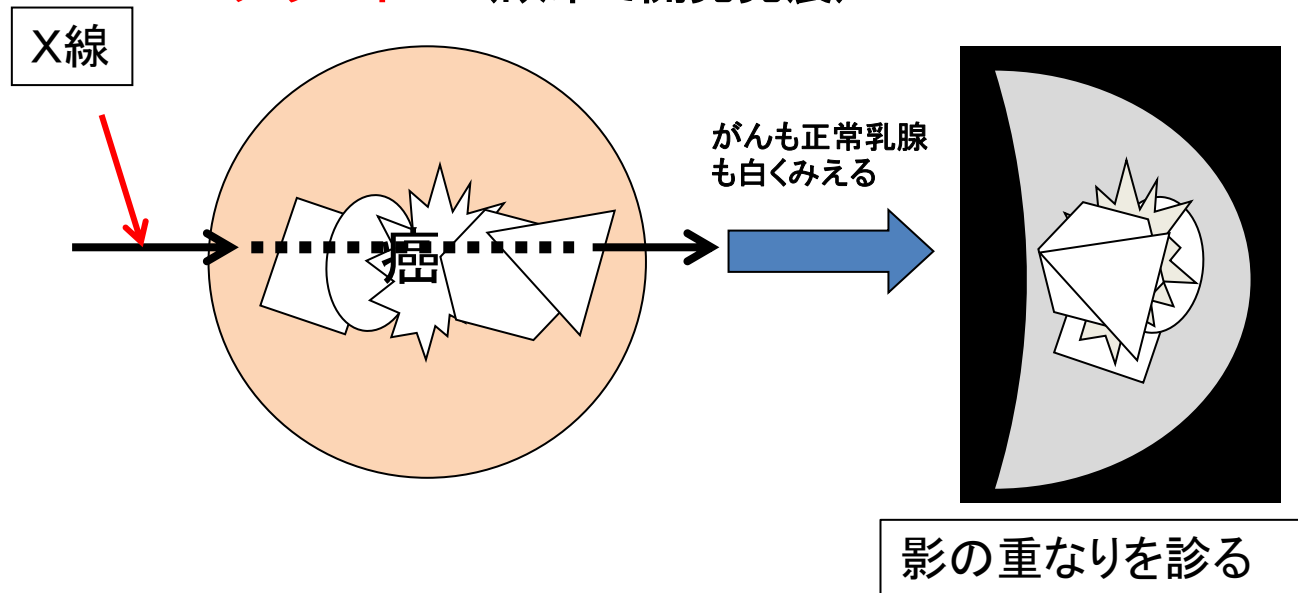


マンモグラフィーとエコー(超音波)検査の違い

マンモグラフィー (欧米で開発発展)

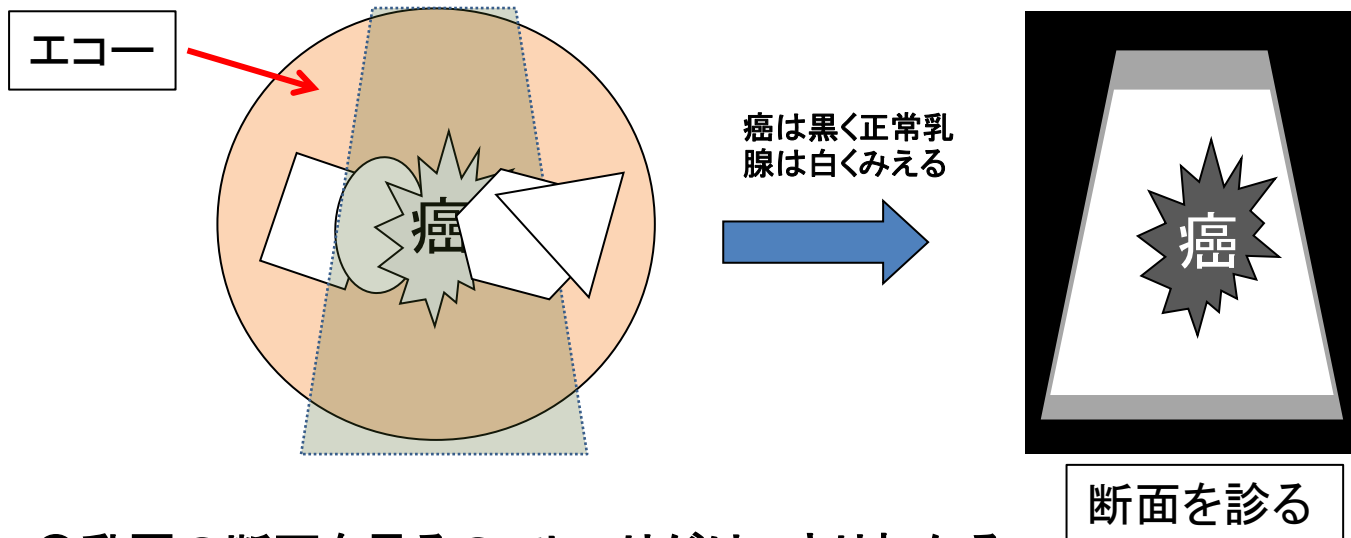


◎X線が乳房全体を通して写しだされる影の重なりから診断する。

◎乳がんが最も多い40代後半から50代前半ではいろいろな影が重なってしこりが判別しにくい。

◎石灰化のみを所見とする乳がんの診断に適するがそのようながんの割合は少ない。

エコー(超音波)検査 (日本で発展)



◎乳房の断面を見るのでしこりははっきりわかる。

◎乳がんのほとんどを占めるしこりの診断に適する。